

## H27総合学科改編について

2013. 5. 7 現在

### Q1. 総合学科になると遊佐高校はどうなりますか？

A1. これまで通り校長が配置され、県立遊佐高校として存続します。入学試験や学校行事及び時間割なども遊佐高校で独自に決定し、学校を運営していくこととなります。

### Q2. 現在遊佐高校へ在籍している生徒はどうなるのですか？

A2. 現在の在校生は普通科として入学しているので、これまで通り普通科として卒業することになります。平成27年度は1年生が総合学科で2・3年生が普通科となり、平成28年度は、1・2年生が総合学科で3年生が普通科となります。

### Q3. 総合学科とは何ですか？ これまでの普通科との違いはなんですか？

A3. 普通科では、国語や数学などの共通科目を中心に学習します。それに対して、総合学科では、共通科目と専門科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことができるようになります。将来の職業選択を視野に入れ自分の進路へ向けた学習を重視した内容の科目を学習することになります。必要な単位を取ることで卒業が認められます。

### Q4. どのような選択科目があるのか、どのような時間割になるのかは決まっていますか？

A4. 遊佐高校でどのような選択科目を設定するかを現在検討中です。決まり次第公表していく予定です。

## H27総合学科改編について（続）

2014. 10. 1 現在

### Q1. 2つの系列に分かれると聞きましたが、系列ってなんですか？

A1. 総合学科では、共通科目と専門科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことができるようになります。その科目選択の目安となる教科・科目のまとまりのことを系列と言います。本校では、2年次から将来の職業選択を視野に入れた学習を行い、自分の進路目標に合う科目を学習することになります。下記のような2つの系列を設置します。

教養系列	将来の進学を意識した系列 ○共通履修科目の他に共通教科（国語・地歴公民・数学・理科・英語）を中心にした学習を行う。 → 基礎・基本を大切にしながら、幅広い教養を身につけ、将来の進路に応じた科目を学習する。
地域共生系列	将来の就職を意識した系列 ○地域との連携を重視しながら学習を行う。 → 共通履修科目の他に、学校設定科目「デュアル実践」や専門科目「商業」・「家庭」等を学習することで実践的な力を養い、社会的に自立できる力を身につける。

### Q2. 入学試験は系列ごとになるのですか？

A2. いいえ、そうではありません。平成27年度からの入学者は総合学科として入学試験を受け、総合学科として卒業することになります。2年次から、希望している進路により各系列のグループに分かれて授業を受けることになります。

### Q3. 系列ごとに2つのクラスに分かれるのですか？

A3. クラスは1クラスですので、基本的にはクラスで行動します。選択授業のときはそれぞれの教室に分かれて授業を受けることになります。選択授業では、2～5の教室に分かれて授業を受けます。少人数になりますので、1人1人を大切に丁寧な指導を受けることができます。

Q4. 系列で進路が決まってしまうのですか？

A4. 1年次は全員同じ教科の学習を行います。特に「産業社会と人間」という科目を通して、自分自身や社会、仕事・職業について理解を深めます。そこで2年次からの、将来の進路へ向けた適切な系列や科目選択を考えていくこととなります。すべての進路が2つの系列に収まるわけではありませんが、1人1人の進路実現へ向け、科目選択の方法も含めて1年次から丁寧な指導を行っていきます。

Q5. どのような科目を学習するのですか？

A5. 共通履修科目以外の科目について科目と内容を表にまとめました。専門教科の科目と学校設定科目についてそれぞれ次のような学習をおこないます。

## 【専門教科の科目について】

科目名	内 容
ビジネス基礎	ビジネスに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、経済社会の一員としての望ましい心構えを身につけるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、活倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。
スポーツⅡ	球技の専門的な理解と高度な技術の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。(例 ソフトボール、バスケットボール)
スポーツⅥ	体づくり運動の専門的な理解とその活用を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、実生活の役立てることができるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。
スポーツ総合演習	スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることのできる資質や能力を育てる。
子どもの発達と保育	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得し、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。
生活と福祉	高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得し、高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。
服飾手芸	手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得し、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。
フードデザイン	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得し、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。

## 【学校設定科目について】

科目名	内 容
国語実践	国語における言葉の成り立ち、文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記について学び、語彙を豊かにし、的確な表現ができるようにする。
数学探究	既習事項のうち、特に社会生活の中で活用の範囲が広い数の計算や方程式の解法について整理し分析することで数学的なものの見方を学習する。
理科探究	生物・化学の内容を中心に学習を進め、化学反応・生物の生態や地元遊佐の地理的題材など、地域環境を題材にしてテーマを設定して取り組む。
生涯芸術・音楽	音楽をひとつのコミュニケーションツールととらえ、ピアノの演奏、指揮法、弾き歌いなどの技術の習得をするとともに、他者と音楽を楽しみ、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる。
生涯芸術・美術	自由な色彩を使い、型にはまらない造形活動を体験することによって、人間が本来持っている感性（色を楽しみ、いろいろなものに感動する能力）を高める。
地域デザイン	レタリングや商業デザインの基礎を習得する。地域の特色をマップに表現する。また特産物のパッケージデザインやキャラクターを作る。
英語実践	英語表現Ⅰで使用した教材を用い、テーマに沿って調べ、プレゼンテーションを行う。その際、身につけておくべき文法項目を含ませ、それらを理解した上で実際に使えるようにする。
文書デザイン	ビジネスに必要とされる知識と技術を習得させ、これらを活用し主体的にビジネスの諸活動に取り組むことが出来る能力と態度を育てる。
生活教養	各テーマに応じた義務教育段階（小学校段階から中学校初期の学習内容）について、個々の学習状況に応じて学習を行う。（教材は国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語）
産業社会と人間	キャリア教育として、各種講話や、インターンシップ、福祉施設訪問、各種ボランティアなど様々な活動や体験をとおして、自分自身や社会、仕事・職業について実感をもって理解する。
デュアル実践	地域共生系列の生徒を対象に、長期のインターンシップを行うことにより、社会の一員として働くことの意味や楽しさ、厳しさを実感させるとともに、粘り強さやコミュニケーション力の育成を図ることにより、社会的な自立ができる生徒を育てる。